

お知らせ

「茂原桜まつり」の中止について

3月下旬から4月中旬に開催を予定していた茂原市観光協会主催の「茂原桜まつり」は新型コロナウイルス感染症拡大の状況等を鑑み、豊田川沿いのライトアップを除き、イベント、出店および茂原公園内のライトアップを中止します。
 茂原市観光協会(商工観光課内)
 ☎(36)7595 FAX(20)1604

ビデオで学ぼう!!

交通安全
 交通ルールを知ってもらうための、学習ビデオの上映や、交通事故防止のためのパネル展示をします。

◆日時 2月18日(金)～27日(日)
 ◆場所 茂原ショッピングプラザ スモ1階中央入口付近
 ◆内容 交通安全学習ビデオ上映、パネル展示
 閩生活課(2階)
 ☎(20)1505 FAX(20)1600

もばら市民活動フェスタ 2022オンラインを開催

市内でまちづくりに取り組む各団体の活動内容を紹介する「もばら市民活動フェスタ」。今年度は感染症予防の観点から、オンラインで開催します。

◆日時 2月18日(金)～27日(日)
 ◆場所 オンライン
 特設ウェブサイト
 ・特別展 茂原ショッピングプラザ スモ1階中央入口付近
 ◆内容 茂原市認定市民活動団体の日頃の活動の様子を動画で紹介(特別展では自治会標語コンクール応募作品も展示)
 閩生活課(2階)
 ☎(20)1505 FAX(20)1600



もばら活性肥料(乾燥汚泥)を無料配布しています

農業集落排水処理施設から発生する脱水汚泥を水分率15%以下に乾燥し、細粒状にしたものを無料配布しています。草花・庭木・農作物などの肥料として使用できますのでご利用ください。

◆配布日時 毎月第3水曜日13時～16時
 ◆配布場所 東郷第一クリーンセンター(六ツ野2964-1)
 ◆配布分量 1人当たり土のう袋2袋(1袋約12kg)
 ※在庫状況により調整して配布 ※在庫不足で配布できない場合は翌月になります。

◆肥料の種類 し尿汚泥肥料
 閩農政課(6階)
 ☎(20)1526 FAX(20)1604



「生理の貧困」について考えよう! ～男女共同参画の実現にむけて(その3)～

生理用品や生理に関する正しい知識が手に入らない状態を「生理の貧困」といいます。民間団体の調査によると、若者の5人に1人が生理用品の入手に苦労しています。

◆生理用品っていくらするの?

多くの人が使用する紙ナプキンは、1パック300円～400円程度で、月におよそ数百円～千円以上の出費になります。これを大した出費でないと感じる人もいるかもしれませんが、そもそも生理のない男性には最初からない出費です。

◆食べ物や服が買えないのに、生理用品が買えないの?

必要最低限の生活水準が満たされていない「絶対的貧困」ではなくても、生活に余裕がない「相対的貧困」の割合が、日本は先進国の中でも高いとされています。「暮らしていけなくはないけれど、何かを削らなければいけない」とき、生理用品がその対象になりやすいのが現状です。

◆貧困に性別は関係ないのに、なぜ生理用品を特別視するの?

生理はさまざまな体調不良や精神的負担を伴うため、女性の教育や女性の社会参画を阻むジェンダー不平等の原因の一つとなっています。民間団体の調査によると、10人に3人が生理を理由に学校や仕事を遅刻・欠席・早退したことがあり、中には大切な試験や大会等を休まざるを得なかった人もいます。これらの機会損失による進学・就労・収入等の男女格差を解消するため、生理用品を学校や公共施設で無償提供する自治体や、税金の撤廃・減税を導入する国が増えていきます。

市では、ご希望の方に生理用ナプキンを無償でお配りしています。詳しくは企画政策課ウェブページをご覧ください。



閩企画政策課(4階)
 ☎(20)1651 FAX(20)1603